

エコアクション21

【 2022年度 】 環境経営レポート

(対象期間：2022年4月1日～2023年3月31日)



双葉建設株式会社



発行日：2023年6月15日

発行責任者：山本 善浩

【 目 次 】

・ 目	次	1
・ 取組対象組織・活動		2
・ 役割、責任及び権限一覧		3
・ 環境経営方針		4
・ 環境経営目標とその実績		5
・ 環境経営計画		6
・ 環境経営計画の取組結果と評価、次年度 の取組内容		7
・ 環境関連法規制の順守状況等		8
・ 代表者による全体の評価と見直し・指示結果		8
・ 環境実績グラフ、過去の主な環境負荷の実績		9
・ 次年度の環境経営計画（2023年度）・〔部門計画〕		10
・ 事業内容		11～13
・ 環境活動実施状況		14～17
・ 緊急事態訓練・安全パトロール		18
・ 社内外活動安全大会・研修会		19
・ 地域の環境保全活動（地域貢献）		20
・ SDGS、MLGSの取組		21
・ 表彰関係		22

1. 取組対象組織・活動

会社名 双葉建設株式会社
 代表者 代表取締役 山本善浩
 所在地 〒520-3302
 滋賀県甲賀市甲南町池田3446番地3
 TEL 0748-86-2616 FAX 0748-86-6816



双葉建設(株)本社

設立(創業)年月
 昭和 35年2月 創業
 昭和 41年3月 設立



本社 土質試験室棟

事業の規模 (2022年度)
 資本金 2100万円
 従業員 20名
 売上高 414 百万円/2022年
 事務所床面積 462.30m² 試験室棟床面積 130.00m²
 倉庫床面積 458.13m² 資機材置場面積 700.00m²

環境管理責任者及び連絡先
 環境管理責任者 田村 久美子
 TEL 0748-86-2616 FAX 0748-86-6816

登録許可

建設業	
土木工事業	滋賀県知事許可特定30018号
とび・土工工事業	滋賀県知事許可特定30018号
水道施設工事業	滋賀県知事許可特定30018号
舗装工事業	滋賀県知事許可特定30018号
さく井工事業	滋賀県知事許可一般30018号
地質調査業	国土交通大臣登録 第569号
測量業	国土交通大臣登録第13406号
補償コンサルタント	国土交通大臣登録 第4799号
ISO9001認証取得	SOCOTEC CERTIFICATION INTERNATIONAL CN/2375
エコアクション21認証取得	認証・登録番号：1904

所属団体・学協会

(社)滋賀県建設業協会	ジオファイバー協会
(社)関西地質調査業協会	ノンフレーム工法研究会
(協)関西地盤環境研究センター	フロテックアンカー技術研究会
(社)全国特定法面保護協会	(社)地盤工学会
滋賀県法面処理協会	(社)土木学会
滋賀県法面処理事業協同組合	

認証・登録範囲

対象事業所 : 本社
 事業活動 : 建設工事業(土木工事業、とび・土工工事業、水道施設工事業、舗装工事業、さく井工事業)、地質調査・土質試験業務

過去3年間の環境負荷の実績

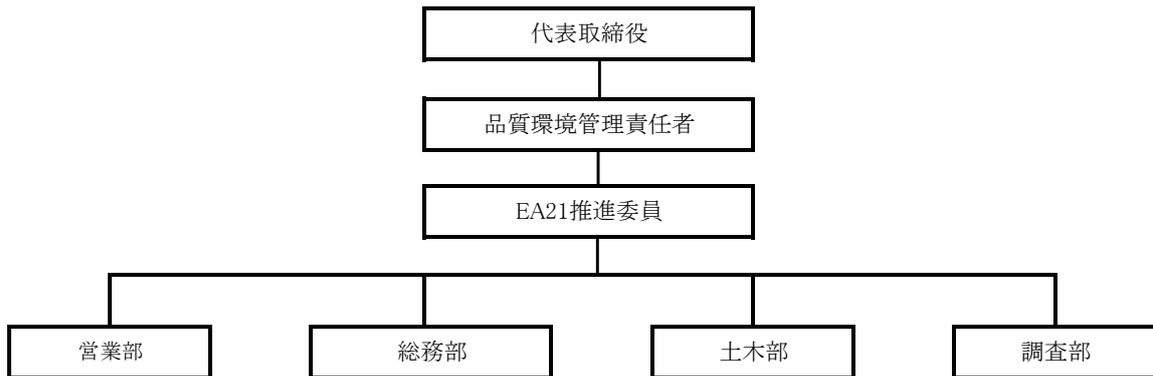
	単位	2019年	2020年	2021年	2022年
二酸化炭素の排出量	Kg-CO ₂	62,864	55,508	47,132	43,542
二酸化炭素排出量原単位	Kg-CO ₂ /百万円	110.5	64	156.6	105.2
廃棄物の排出量	t	667	255	182.1	267.2
水の使用量、排水量	m ³	251.8	251.6	175.5	172.0

*環境活動取組期間は4月1日から翌年3月31日です。

*購入電力の排出係数は2018年関西電力調整後排出係数、0.334kg-CO₂/kwhを2020年~2022年の3ヶ年間固定とします。

*化学物質の使用量は極微量の為、SDSにて適正に管理します。

双葉建設(株) EA21実施体制組織図



※全従業員は、当社に構築された環境経営システムを理解し、策定された環境経営方針の下、環境経営目標の達成に向けて、環境経営計画に基づき、一致協力して環境取組を行う。

役割、責任及び権限一覧

担当	内容
代表取締役	①環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ。
	②代表者による経営における課題とチャンスの明確化を図る。
	③環境経営システムの構築・運用・管理に必要な資源を用意する。 (資源には、人材、設備、費用、時間、専門的な技能、技術を含む。)
	④環境管理責任者を任命する。
	⑤環境経営方針の策定・見直し及び従業員への周知を行なう。
	⑥代表者による全体の評価と見直し・指示を実施する。
	⑦環境経営レポートを承認・許可する
環境管理責任者	①環境経営システムを構築し、実施し、管理する。
	②作成された環境への負荷及び取組の自己チェックを確認し承認する。
	③法規制等の遵守状況をチェックする。
	④環境経営方針及び自己チェック等に基づき環境経営目標を設定し、作成された環境経営計画を確認し承認する。
	⑤環境活動の取組状況を確認し、環境経営目標の達成状況を評価する。
	⑥問題点の是正、予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行なう。
	⑦環境活動の取組結果を代表者へ報告する。
	⑧EA21に関する運用管理の体制を構築し、各責任者を任命する。
各部門長及び 工事現場代理人	①責任範囲の環境経営目標及び環境経営計画の実施とEA21事務局への達成状況の報告。
	②責任範囲の問題点の発見、是正、予防処置。
	③各部門における環境責任者は部門長とする。
	④工事現場における環境責任者は現場代理人とする。
	⑤調査業務における環境責任者は業務責任者とする。
EA21事務局	①環境経営システム運営のすべての事務を行なう。
	②環境への負荷及び取組の自己チェックを作成し、環境管理責任者へ報告する。
	③「環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況チェックリスト」を作成し、環境管理責任者へ報告する。
	④環境経営計画並びに運用手順書を作成し、実施達成状況を集計し、環境管理責任者へ報告する。
	⑤文書類(文書・記録)の管理保管。
	⑥外部コミュニケーションの窓口。
	⑦内部コミュニケーションの運営管理。
	⑧従業員に対する教育訓練の計画及び実施を行い、環境管理責任者へ報告する。
	⑨特定された緊急事態に対する項目の手順書作成、テスト・訓練・記録。
	⑩環境経営レポートを作成する
全従業員	①環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	②決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

双葉建設株式会社

環境経営方針

環境理念

当社は、地球規模での環境悪化に対し、その保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、事業活動において、環境に配慮した循環型社会の構築に貢献します。

活動指針

当社は滋賀県地域を中心とした土木建設、地質調査等の事業を行っています。この事業活動における環境への影響を理解し、環境経営を優先課題と位置づけて、社員と協力しエコアクション21の環境経営システムを構築運用します。なお、システムの継続的改善と汚染の予防に努め、以下の事項について自主的、積極的に取り組みます。

1. 環境関連法規等を遵守します。
2. 環境目標を定め、定期的に見直し継続的改善に努めます。
3. 環境負荷を軽減するため、次の活動を実施します。
 - 化石燃料等の削減に努め、地球温暖化防止に取組みます。
 - 事業活動に伴う廃棄物のリユース・リサイクルに努めます。
 - 使用する資材のロスを減らし、無駄な資材を購入しない事に努めます。
 - 省資源に努め、使用する水を削減します。又、建設現場における濁水管理に努めます。
 - 事業活動において、環境に配慮した作業方法の推進に努めます。
 - 化学物質の確実な管理に努めます。
 - 地域に密着した環境への貢献活動を推進します。

制定日：2007年2月1日

改訂日：2019年4月1日

改訂日：2021年4月1日

滋賀県甲賀市甲南町池田3446番地3

双葉建設株式会社

代表取締役

山本善浩

3 環境経営目標とその実績

2018年、2019年までの実績を自己チェック等により把握し、その結果2018年、2019年の実績値の平均値を基準値として、2020年度から2022年度までの目標を下記の通り設定し、環境活動に取り組んでいます。尚、このレポートでは、2022年4月1日から2023年3月31日までの運用実績について取りまとめました。

環境経営方針	取組項目	年度 単位	2018年度、2019 年度平均値 基準値	取組年 2022年 2022年4月～2023年3月		次年度	次々年度
				(目標)	(実績)	2023年	2024年
				(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
化石燃料等の削減に努め、地球温暖化防止に取り組めます。	電力使用量削減 (単位：kWh)	目標・基準年 達成率	100%	98.5%	94.7%	98.5%	98.5%
		使用量	23,938	23,579	22,680	23,579	23,579
		(kg-CO ₂)	7,995	7,875	7,575	7,875	7,875
	ガソリン使用 量の削減 (単位：L)	目標・基準年 達成率	100%	98.5%	66.6%	98.5%	98.5%
		使用量	12,003	11,823	7,990	11,823	11,823
		(kg-CO ₂)	27,848	27,430	18,536	27,430	27,430
	軽油使用量削減 (単位：L)	目標・基準年 達成率	100%	98.5%	71.1%	98.5%	98.5%
		使用量	9,454	9,312	6,719	9,312	9,312
		(kg-CO ₂)	24,392	24,026	17,336	24,026	24,026
	LPG使用量削減 (単位：kg)	目標・基準年 達成率	100%	98.5%	79.1%	98.5%	98.5%
		使用量	40	39.1	31.4	39.1	39.1
		(kg-CO ₂)	119	117	94	117	117
	二酸化炭素排 出量の削減	目標・取組年 達成率	100%	98.5%	73.2%	98.5%	98.5%
		(kg-CO ₂)	60,354	59,448	43,542	59,448	59,448
二酸化炭素 排出量/百万 円原単位	目標・取組年 達成率	100%	98.0%	85.9%	98%	98%	
	(kg-CO ₂ /百万 円)	124.9	122.4	105.2	122.4	122.4	
事業活動に伴う廃棄物のリ ユース・リサイクルに努めま す。	目標・取組年 達成率	-	-	102.2%	-	-	
	(%/年)	96%	96%	98.1%	96%	96%	
省資源に努め、使用す る水を削減します。 又、建設現場における 濁水管理に努めます。	目標・基準年 達成率	100%	100%	79.3%	100%	100%	
	(%/年)	216.9	216.9	172.0	216.9	216.9	
	目標・取組年 達成率	-	-	100%	-	-	
事業活動において、環境に 配慮した作業方法の推進に 努めます。	目標・取組年 達成率	100%	100%	100%	100%	100%	
	(%/年)	100%	100%	100%	100%	100%	
事業活動において、環境に 配慮した作業方法の推進に 努めます。	目標・取組年 達成率	-	-	100%	-	-	
	(%/年)	100%	100%	100%	100%	100%	
地域に密着した環境への貢 献活動を推進します。	目標・取組年 達成率	-	-	133%	-	-	
	(以上/年)	12	12	16	12	12	

- 1 購入電力の排出係数は2018年関西電力調整後排出係数、0.334kg-CO₂/kwhを2020年から2022年の3ヶ年間固定します。
- 2 廃棄物排出量は、事業活動からの廃棄物に対する総排出量で管理し、建設リサイクル率%で取組みます。
- 3 水使用量については、事務所、建設現場における総水使用量は基準年維持について取組し、建設現場では濁水防止監視を100%実施します。
- 4 化学物質の取扱いには極微量のため、目標に掲げないがSDSで適正に管理します。
- 5 環境配慮施工では、低騒音・低振動型重機や排ガス規制適合車を100%使用します。
- 6 社会貢献は美知メセナや甲賀まち美化活動に参加します。
- 7 2023年、2024年の目標は仮目標です。
- 8 上記の目標のほか、作業場の環境及び品質安全向上のために3S活動（整理、整頓、清掃）に取り組めます。

4 環境経営計画

環境経営方針	取組項目	環境経営計画の内容	責任部門・担当者
化石燃料等の削減に努め、地球温暖化防止に取り組めます。	電力使用量削減 (単位：kWh)	① 電気使用の時間管理【使用開始月、切る時間（照明・エアコン、17時半以降の使用の管理、不在時の消灯）】 ② エアコンフィルターの掃除【使用した月に行う】 ③ LEDと研修室の活用 試験室：照明器具・試験器具のこまめなスイッチオフ【退室時・快晴日】	総務部
	ガソリン使用量の削減 (単位：L)	① エアコンの温度管理を行う（ACボタンを控える等） ② 空気圧の確認 ③ 事務所へ行き先確認・報告（忘れ物・配達物確認） ④ オイル交換のチェック ⑤ 目標燃費の達成	総務部 土木部 調査部
	軽油使用量削減 (単位：L)	現場 ① 重機の効率的な稼働 ② 積み込みの工夫 ③ エアコンのACボタンを控えるか使用時には温度管理を行う ④ 行き先の確認・報告 ⑤ オイル交換のチェック ⑥ 目標燃費の達成 ⑦ 空気圧の確認（車両修理時）	
	LPG使用量削減 (単位：kg)		
事業活動に伴う廃棄物のリユース・リサイクルに努めます。	分別及びリサイクルの推進 (単位：%)	一般廃棄物、産業廃棄物 ① 廃棄物を分別し、リユース・リサイクルを徹底する ② 無駄な資機材を購入しない ③ 備品・資材の管理及び保管（資材を大切に）。 ④ コピー紙の削減（ミソプリント・裏面使用） ④ ペーパーレスの推進	総務部 土木部 調査部
省資源に努め、使用する水を削減します。又、建設現場における濁水管理に努めます。	事業所利用水の節水 (単位：㎡)	① 洗車時・機械等を洗った際、節水 ② 水を流しながらの洗い物はしない	総務部
	濁水防止の適正監視 (単位：%)	① 濁水防止の適正監視する	土木部
事業活動において、環境に配慮した作業方法の推進に努めます。	環境配慮施工の推進 (単位：%)	① 環境配慮施工の推進 ② 低騒音・低振動型重機、排ガス規制適合車輛を使用	土木部
地域に密着した環境への貢献活動を推進します。	地域の美化活動に参加する (単位：回)	① 地域の清掃活動に参加する	総務部

取組の紹介

- 現場トラック・乗用車の低燃費車両の導入や環境対策型重機や機械の使用を行った。
- 毎年恒例の当社施工現場の見学会を行い、社員全員が現場周辺道路の清掃活動に取り組んだ。
- 汚濁防止フェンスの使用・トラックスケール(過積載防止)の使用(琵琶湖(赤野井湾)河川環境整備工事)
- ソーラー警告灯の利用(油日地区配給水管布設替工事)
- 低騒音機械の使用(全対象工事)
- 油漏れ時・給油時吸着マットの使用(調査部)、コア箱・土嚢袋等の再利用(調査部)
- 資機材及び備品の管理(資源大切に)(調査部)
- 地域貢献活動で、滋賀県道の美知メセナ活動・甲賀市道の美化活動を毎月行った。

5 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

評価：○達成 △基準年105%以内達成 ×未達成

環境経営方針	取組項目	年度 単位	取組年 2022年 2022年4月～2023年3月		評価	取組の評価
			(目標)	(実績)		
化石燃料等の削減に努め、地球温暖化防止に取り組めます。	電力使用量削減 (単位：kWh)	目標・基準年 達成率	98.5%	94.7%	○	全社員が各項目の活動に取り組んだ結果、電力の削減ができた。 全車両がエコドライブ等の活動に取り組んだ結果化石燃料の削減ができた。
		使用量	23,579	22,680		
		(kg-CO ₂)	7,875	7,575		
	ガソリン使用量の削減 (単位：L)	目標・基準年 達成率	98.5%	66.6%	○	
		使用量	11,823	7,990		
		(kg-CO ₂)	27,430	18,536		
	軽油使用量削減 (単位：L)	目標・基準年 達成率	98.5%	71.1%	○	
		使用量	9,312	6,719		
		(kg-CO ₂)	24,026	17,336		
	LPG使用量削減 (単位：kg)	目標・基準年 達成率	98.5%	79.1%	○	
		使用量	39	31		
		(kg-CO ₂)	117	94		
二酸化炭素排出量の削減	目標・取組年 達成率	98.5%	73.2%	○		
	(kg-CO ₂)	59,448	43,542			
二酸化炭素排出量/百万円原単位	目標・取組年 達成率	98.0%	85.9%	○		
	(kg-CO ₂ /百万円)	122.4	105.2			
事業活動に伴う廃棄物のリユース・リサイクルの推進 (単位：%)	目標・取組年 達成率	-	102.2%	○	適切に分別処理され再資源化できた。	
	(%/年)	96%	98.1%			
省資源に努め、使用する水を削減します。 又、建設現場における濁水管理に努めます。	事業所利用水の節水 (単位：㎡)	目標・基準年 達成率	-	79.3%	○	適切に水の使用を行い、目標達成できた。
	(%/年)	216.9	172.0			
濁水防止の適正監視 (単位：%)	目標・取組年 達成率	-	100%	○	適切に濁水処理ができた。	
	(%/年)	100%	100%			
事業活動において、環境に配慮した作業方法の推進に努めます。	環境配慮施工の推進 (単位：%)	目標・取組年 達成率	-	100%	○	各施工現場で環境配慮施工を行った。
		(%/年)	100%	100%		
地域に密着した環境への貢献活動を推進します。	地域の美化活動に参加する (単位：回)	目標・取組年 達成率	-	133%	○	本社周辺地域と施工現場周辺の清掃活動を全社員で行った。
		(以上/年)	12	16		

今年度の主な取組内容

- 1 二酸化炭素排出量削減取組みでは、省エネや車両のアイドリングストップやエコドライブ等の目標達成手段を実施した
- 2 廃棄物は分別を実施して削減に努め、建設リサイクルを推進した
- 3 水使用量の削減では車両の洗車の使用量削減に努め、建設現場での濁水防止監視を実施した
- 4 建設現場では環境配慮重機や排ガス適合車両を使用した
- 5 環境美化活動は地域の美化活動に参加した

次年度の取組内容

- 1 二酸化炭素排出量削減取組みでは、省エネや車両のアイドリングストップやエコドライブ等の目標達成手段を実施する
- 2 廃棄物は分別を実施して削減に努め、建設リサイクル率で推進する
- 3 水使用量の削減では車両の洗車の使用量削減に努め、建設現場での濁水防止監視を実施する
- 4 建設現場では環境配慮重機や排ガス適合車両を使用する
- 5 環境美化活動は地域の美化活動に参加する
- 6 環境目標の達成取組みと共に、作業場の環境及び品質安全向上のために3S活動（整理、整頓、清掃）に取組み、意識を持って全員で実践していきたい

6 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反、訴訟はありません。又、過去3年間に関係当局からの違反、訴訟等の指摘はありません。

適用される法規制等と遵守状況

法規制等の名称	該当する要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出	遵守
水質汚濁防止法	事故時の措置	遵守
大気汚染防止法	建築物等の解体・補修時には石綿含有建材の事前調査	遵守
自動車リサイクル法	廃自動車のリサイクル券	遵守
家電リサイクル法	家電リサイクル券	遵守
騒音規制法	対象特定施設の届出、規制値の遵守	遵守
振動規制法	対象特定建設作業の届出、規制値の遵守	遵守
消防法	対象危険物保管の届出	遵守
フロン排出抑制法	第1種特定製品の簡易点検、漏洩報告、記録の保存、解体の場合、第一種特定製品の有無の事前確認を行い、発注者に対して書面（事前確認書）を交付	遵守
地域ごみ出しルール	一般廃棄物の分別、収集、排出	遵守

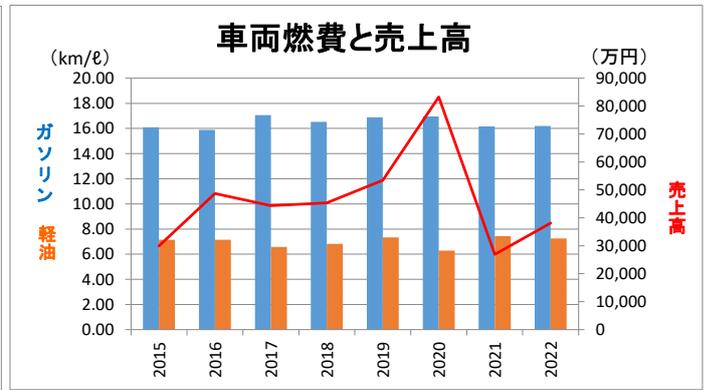
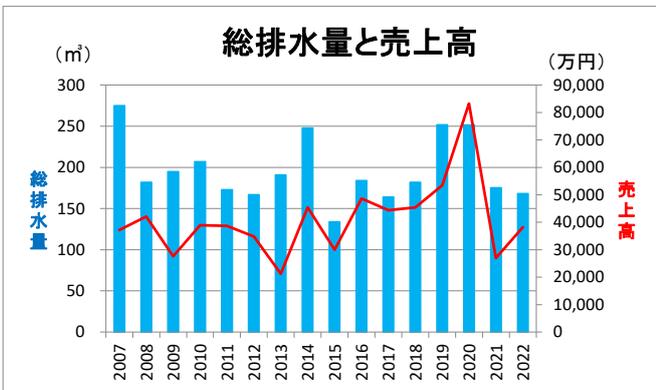
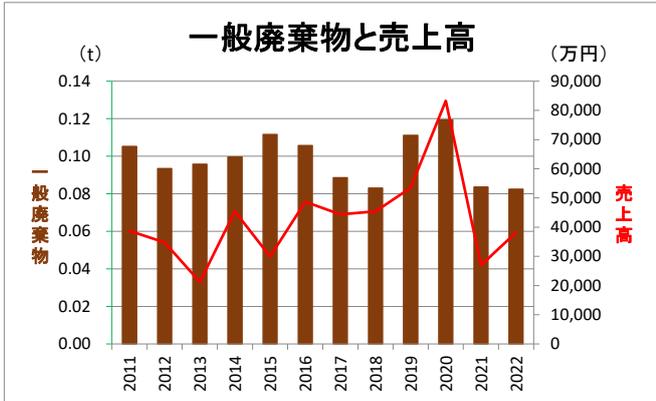
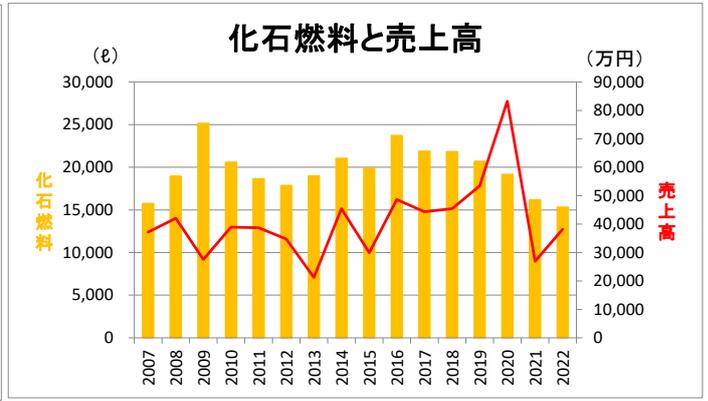
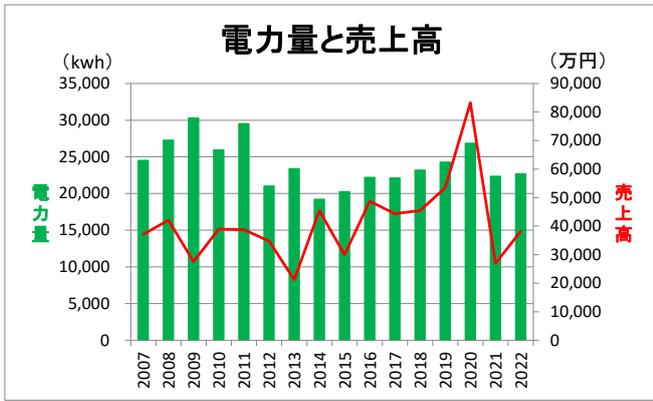
注：適用される法規制等と遵守状況は、環境関連法規等の遵守状況のチェック結果に基づき記載します。

7 代表者による全体の評価と見直し・指示結果

コロナ禍で感染防止に努めながら各部署における環境活動を展開することができ、目標達成に繋がった。今後は目標受注高を確保しつつ活動を継続させることで、環境意識の更なる向上を図っていく。また次年度は、環境経営目標、環境経営計画を新たに策定すること。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input type="checkbox"/> 変更なし	<input checked="" type="checkbox"/> 変更あり
実施体制他	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

環境実績グラフ(2007年～2022年)



過去の主な環境負荷の実績

	単位	2019年	2020年	2021年	2022年
二酸化炭素の排出量	kg-CO ₂	62,864	55,508	47,132	43,542
二酸化炭素排出量原単位	kg-CO ₂ /百万円	110.5	64.1	156.6	144.7
廃棄物の排出量	t	666.6	255.2	182.1	267.2
水の使用量、排水量	m ³	251.8	251.63	175.5	172.0

*環境活動取組期間は4月1日から翌年3月31日です。

*購入電力の排出係数は2015年関西電力調整後排出係数、0.496kg-CO₂/kwh (2017年～2019年) 3年間固定。

*購入電力の排出係数は2018年関西電力調整後排出係数、0.334kg-CO₂/kwh (2020年～2022年) 3年間固定。

*化学物質の使用量は極微量の為、適正に管理します。

次年度の環境経営計画（2023年度）〔部門計画〕

取組項目		活動計画	
二酸化炭素排出量削減	電力使用量削減	事務所	① 電気使用の時間管理【エアコン使用開始月、切る時間】 （照明・エアコン、17時半以降の使用の管理と声掛け、不在時の消灯） ② エアコンフィルターの掃除【使用した月に行う】 ③ LEDと研修室の使用
		現場	① 現場事務所の節電 ② 現場でのソーラー信号機・回転灯の利用
	化石燃料使用量削減	事務所	① エアコンの温度管理を行う(ACボタンを控える) ② 空気圧の確認(毎月) ③ 行き先の事前報告(忘れ物・配達物の確認・相乗り) ④ オイル交換予定走行距離の確認と実施 ⑤ 目標燃費の達成
		現場	① 重機の効率的な稼働 ② 積みみの工夫 ③ エアコンのACボタンを控えるか使用時には温度管理を行う ④ 行き先の確認・報告 ⑤ オイル交換のチェック ⑥ 目標燃費の達成 ⑦ 空気圧の確認(車両修理時)
廃棄物排出量削減	一般廃棄物	事務所	① 不要紙の削減(個人管理) ② ペーパーレス作業の推進(資料のPDF化など) ③ A3、両面印刷(製本印刷)の推進 ④ 備品・管理及び保管(資材を大切に作る) ⑤ リユース・リサイクル
		現場	① 廃棄物の分別 ② 弁当・ペットボトルなどの持ち帰り
	産業廃棄物	現場	① 建設現場から発生する産業廃棄物は分別を徹底し、リサイクル率を維持する (産業廃棄物のリサイクル・リユース、分別、処分業者の選定、資材等のリデュース)
総排水量削減	全社	① 洗車時・機械等洗浄時の節水 ② 流し洗いをしない ③ 井戸水の積極的活用 ④ 蛇口の締め忘れ確認	
環境に配慮した作業方法の推進	現場	① 各現場に合った環境に配慮した作業方法を行う <<参考>> 環境配慮工法の選択 地域貢献(清掃活動など) 粉塵、騒音、濁水対策	

※化学物質の使用量は微量の為、目標に掲げず、適正な管理を行う。

土木一式工事

土木一式工事



道路工事



河川工事



造成工事



下水道工事

法面保護工事

現場吹付法砕工



現場吹付法砕工

落石防止工



補強土壁工

アンカー工



モルタル吹付工

地山補強土工



アンカー工

緑化工



種子散布工



ドローンの活用



簡易吹付法砕工



第24回滋賀県優良工事表彰

国道306号補助道路修繕工事(工区2)

特殊工事

さく井工事



さく井工事

地すべり対策工事



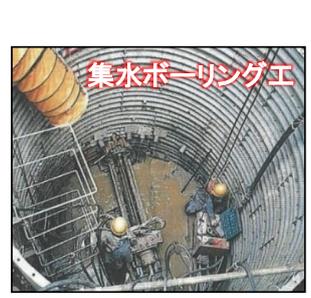
地すべり対策工事

グラウト工事



グラウト工事

ボーリング工事



集水ボーリング工

地質調査



土質試験



測量



一般調査



➤ BIWAソイル緑化工法



- 滋賀県内で発生した木質系廃棄物を有効活用し、急速緑化を行なうことで緑を速やかに復元するリサイクル型の緑化工法
- 従来の植生基材吹付工よりも他の植物導入(二次植生)が期待でき、ゼロエミッションの向上と経済的効果も高い新しい工法

◆ECO POINT

滋賀県認定リサイクル製品

- ・BIWAソイル
- ・BIWAチップ

を使用しています!!



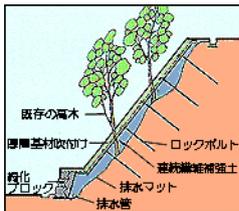
滋賀県認定リサイクル製品

➤ BIWAチップマルチング工法



- 滋賀県内で発生した木質系廃棄物を有効活用し、植物が生育する事を抑制するマルチング層を吹付施工により創造する工法
- 道路の見通しの確保、除草作業の軽減を目的とした工法

➤ ジオファイバー工法



- 連続繊維補強土(砂と糸だけでせん断力の強い土構造物をつくる)を用いたジオファイバー工法
- 地山補強とともに環境保全対策として樹林化はもとより、既存高木をそのまま生かすことができ、CO2排出削減や緑化・樹林化の促進といった多彩なシーンで選ばれる工法

➤ ノンフレーム工法

法面保護工事(竹生島)



- 自然斜面の緑や森林土壌を除去しないため生態系を乱さずCO2削減にも貢献し環境にやさしい工法
- 補強土材(自穿孔ロックボルト) 頭部結合材(ワイヤーロープ)から構成されています。

環境活動実施状況(事務所)



世界の子ども達へ
ワクチンを
届けよう!

LED外灯の増設



ゴミの分別



裏紙の再利用



環境対策複合機



太陽光発電



庭木散水設備(井戸水の利用)



防災倉庫の設置 (緊急事態対策)



扇風機の利用と換気



高圧洗浄機での敷地清掃



ペーパーレス会議



応接室の亚克力板の設置



環境活動実施状況(建設工事現場)

◆令和3年度 第A303-5号甲賀阿山線補助道路整備工事 施工現場

週休二日制実施施工現場



ソーラー発電 チューブライト使用



落石防止のため、オレンジネットを使用



遠隔臨場で材料検収



過積載防止対策



排ガス対策型・低騒音型重機の使用



ごみの分別



AEDの設置



環境活動実施状況 (調査部現場)

◆ 地質調査課

◆ 騒音対策・泥水飛散対策(仮囲仮設)



◆ 低燃費・低排出ガスクレーントラックの使用



◆ ハイブリッドソーラー ひまわり



◆ ボーリング調査の泥水処理



◆ 排ガス処理



環境活動実施状況 (調査部現場)

◆ 土質試験室

◆ 室内試験

◆ 配合CBR試験(水浸中) 水の再利用



◆ 設計CBR試験 (電子黒板)



◆ 現場 C B R 試験

◆ ウォーターリサイクル工法 (泥水処理)



◆ 井戸水質調査



◆ 化学薬品の管理



電力使用量の削減



フェイスシールド
ヘルメット着用



緊急事態発生訓練

消火避難訓練 (事務所・試験室)

本社にて、消火器の使い方、試験室での火災発生時の訓練、を行いました。

消火避難訓練



総評

試験室で火災が発生!(想定)

火災時の事務所TSデータ
-保管取扱の確認!



施工現場緊急訓練

油日地区配給水管布設工事現場での緊急訓練



現場で落ち葉に燃え移った時を想定!

施工現場の安全パトロール

毎月実施中!



社内外活動

安全大会

2022年の安全大会は取引先様オンライン参加形式で行いました。

スローガン

「ちょっと待て！ 迷ったときは 一呼吸 気を引き締めて 安全作業」



オンライン配信中



令和4年度 第26回
双葉建設(株)安全大会
大会次第

開会	岡本 次郎	13:10~
会長挨拶	安全衛生協力会 会長 上木 謙吾	13:20~
安全表彰	利光ボーリング 依藤 利幸	13:30~
令和4年度安全衛生管理計画 各部門からのお願い	土木部 関 瀬 戸 亮 調査部 岩崎 智 規	13:50~
労働災害の現状と対策	土木部 水谷 浩 敏 建設業労働災害防止協会 湯沢支所甲賀分会安全指導員	14:00~
決意表明(安全宣言) [スローガン唱和]	調査部 増 治 力 哉	14:10~
代表挨拶	双葉建設(株) 代表取締役 山 本 善 浩	14:20~
閉会	岡本 次郎	14:30~



技術研修会・現場見学会

甲賀阿山線補助道路整備工事 現場見学会



土質試験の体験研修



レーザースキャナー体験研修



地域の環境保全活動(地域貢献)

美知メセナ活動の実施

県道の地域清掃の実施 (毎月1回)



県道草津伊賀線の
ゴミ拾いや清掃・除草等を
毎月1回実施しています!!

甲賀市まち美化活動の実施

市道の地域清掃の実施 (毎月1回)



市道池田中央線の
ゴミ拾いや清掃・除草等を
毎月1回実施しています!!

建設現場の地域貢献活動(清掃活動)の実施

甲賀阿山線補助道路整備工事現場



現場周辺地域の
ゴミ拾いや清掃活動を
行いました!!

滋賀県建設業協会甲賀支部の企業が地域貢献活動に参加しています
(希望ヶ丘小学校グラウンド整備事業、湖南市立石部南小学校グラウンド整備)



当社は道路の凍結時期(12月~3月)において、
滋賀県要請時に凍結防止剤の散布を行い、
未然にスリップ事故等を防止しています!!

雪
寒
対
策





双葉建設はSDGs・MLGs(琵琶湖版SDGs)に賛同します

双葉建設は、『常にお客様の立場で考え、信頼され、満足される技術を提供する』の経営方針のもと、当社の事業活動に国連が提唱する持続可能な開発目標SDGsの精神を取り入れ、お客様や地域から信頼され、持続可能な地域社会の実現に貢献できるよう積極的に取り組んでまいります。

①インフラ環境整備への貢献



- 🌱 防災工事・環境インフラ工事の調査・設計から施工まで
- 🌱 環境に配慮した工法の推進
 ノンフレーム工法・ジオファイバー工法
 BIWAソイル緑化工法・BIWAチップマルチング工法
- 🌱 災害時における緊急支援活動
- 🌱 雪寒対策活動



②働きやすい職場環境の構築



- 🌱 技術研修会の開催・外部講習会への参加
- 🌱 安全大会の開催・労働環境改善
- 🌱 滋賀県ワーク・ライフ・バランス推進企業登録
- 🌱 健康経営への取組み(ヨガ教室の開催)
- 🌱 従業員の資格取得支援
- 🌱 交通安全運動への参加
- 🌱 滋賀県女性活躍推進企業認証
- 🌱 健康診断の全員受診



③地球にやさしい取組み



- 🌱 エコアクション21 認証
- 🌱 節水による地球資源(井戸水)の有効活用
- 🌱 エアコンの温度管理とエコドライブの推進
- 🌱 太陽光発電による再生エネルギー活用の推進
- 🌱 ペットボトルキャップ運動への参加
- 🌱 濁水防止対策の実施
- 🌱 LED機器の導入による省エネ推進
- 🌱 低燃費・低騒音機械の使用
- 🌱 ペーパーレス作業の推進
- 🌱 施工現場での琵琶湖の環境保全



④地域社会への貢献



- 🌱 社会貢献活動
 (びわ湖の日一斉清掃活動、美知メセナ、甲賀市まち美化活動、現場周辺地域の清掃活動、出前授業、地域イベントへの参加)
- 🌱 滋賀県建設業協会
 (災害における緊急支援活動、防災訓練、小中学校のグラウンド整備活動、公共施設清掃作業、安全パトロール)
- 🌱 関西地質調査業協会(災害時における緊急支援活動、防災訓練、技術講演会)
- 🌱 全国法面保護協会(災害時における緊急支援活動、安全パトロール)
- 🌱 滋賀県法面処理協会(技術講演会)



表彰関係

第24回滋賀県優良工事表彰

平成29年度 第B521-2号
国道306号補助道路修繕工事(工区2)



**滋賀県知事賞
琵琶湖環境部門
(平成22年度)**
H22年度災害関連緊急治山工事

**滋賀県土木部長賞
(平成27年度)**
H26年度愛知川右岸地区区路面対策工事

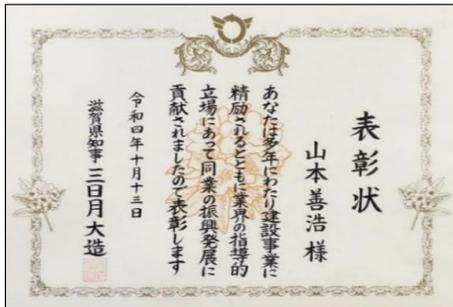
**滋賀県琵琶湖環境部長賞
(平成28年度)**
H27年度復旧治山工事



令和3年度 建設業安全衛生大会 事業者賞
令和元年度 愛東外地区補助急傾斜地崩壊対策工事

**滋賀県土木部長賞
(平成29年度)**
H28年度国道367号補助道路修繕工事

**滋賀県琵琶湖環境部長賞
(平成29年度)**
H28年度復旧治山工事



**EA21 継続取組
10年表彰
(平成29年度)**

